

構造的プラチナ不足

WPIC のリサーチディレクター
Edward Sterck
プラチナ市場の供給不足と
投資機会について語る

コモディティー市場において、そのコモディティーが不足する状態というのは、需要を満たすだけの供給がないことを意味するが、プラチナ市場は供給が需要に追いつかない年が続き、構造的にプラチナが不足している状態にある。3年連続で今年もプラチナ不足、その量は30トンに上る予測だ。昨年の不足は30.9トン、2023年は27.9トンだった。WPIC による2年～5年先の展望によると、2029年までは毎年プラチナが不足する。

[最新の需給データに基づく『プラチナ四半期レポート2025年第1四半期』](#)を使いながら、WPIC の Edward Sterck が、この背景とそれがもたらす投資機会について解説する。

何がプラチナの構造的不足をもたらしているのか？

今年のプラチナ鉱山生産はここ数年来の低い予測だ。2024年の鉱山業界はバスケット価格の下落を受けた再編が進み投資が減った。リサイクル供給も従来の水準に戻っていない。2025年のプラチナ供給は全体で7 Moz (217.7トン) 以下になる見込みで、コロナ禍を除く2013年以降のデータでは最低水準。

供給は2015年以降、毎年1% ずつ減っており、構造的な問題があることが浮き彫りになっている。

その一方で2025年の需要は、前年比マイナス4% の予測ではあるが相対的に堅調だ。マイナスになるのは、今年は新規工場建設がほとんどないガラス産業の周期的な需要サイクルのためで、ガラス産業のプラチナ需要は前年比マイナス 58% の 9 トン（昨年は21.5トン）だ。

供給も需要も価格弾力性が比較的低い、つまり、少なくとも短期で価格が動いても供給も需要もそれほど大きく変化しないというのが我々の見方で、この点こそが投資のチャンスを生み出すことにつながる。

需要の背景にあるのは何か？

我々の予測以上に需要が増える可能性があるのは、投資と宝飾品の分野。中国のインゴットとコインの需要は現在、予想を上回って推移しているが、宝飾品の需要も目に見えて増えている。

世界のプラチナ宝飾品の需要に関する半年前の展望は、低迷する中国を堅調なその他の地域の需要で補うという構図だった。

しかし、ゴールド価格の高騰がゴールド宝飾品の販売に影響し、中国の第1四半期は前年比マイナス32%となった。販売低下を受け、中規模のゴールド宝飾品店は利益確定と在庫調整のためにゴールド宝飾品の多くの在庫を処分し、その代わりにプラチナ宝飾品を仕入れている。

この動きを受けてプラチナ宝飾品の製造高が前年同期比で26%も増えた。欧州と北米はホワイトゴールド宝飾品の大きな市場だが、そこではホワイトゴールド商品がプラチナ商品と変わらない価格になり、プラチナ宝飾品の販売を後押ししている。

EVの普及はプラチナ需要にどう影響しているか？

ドライブレインは世界的に電動化に向かい、自動車のプラチナの需要は徐々に減っていくだろうが、そのペースは予想を下回っている。つまり、経済の先行きが不透明であっても自動車のプラチナの需要はより長い期間にわたって続き、特にハイブリッド車の利用で需要は増える見込みだ。

地上在庫はプラチナ不足にどう影響するのか？

プラチナ市場の構造的なプラチナ不足が続き、地上在庫が使われて今年末にはわずかに需要3ヶ月分の量にまで減る予測だが、これは持続不可能と言える水準だ。

現在マーケットがタイトになっている状況はリースレートの上昇にはっきりと現れている。

リースレートが上がるとエンドユーザーに貸し出すプラチナが増え、一時的な供給源となる。しかし借り手は時期が来ればメタルを返さなければならず、その時に十分な量のプラチナが現在の価格水準で入手できるのかどうかは不明だ。

関税が今年予測されるプラチナ不足を解消するか？

プラチナは、プラチナにしかない特有の性質と多方面で利用されているという強みを生かし、貿易障壁やそれに関連する経済成長への悪影響を緩和することができる。実際、関税は今年のプラチナ需要の展望には危惧されているほど影響を与えないという結果が出ている。

経済的リスクと関税リスクをモデル化して分析した結果、需要が多少減る可能性はあるが、今年予測されるプラチナ不足の程度は非常に大きいため、それが大幅に縮小できるシナリオを想定するのは容易ではない。

投資資産としてのプラチナに対し、プラチナの不足は何を意味するのか？

基本的な市場経済理論によれば、品物が不足している市場では価格がそれに反応し、新たな供給源を市場に呼び込むか、あるいは需要を押し潰す。しかし、プラチナ市場の動きが予想しづらいのは、供給も需要も共に短期的には価格弾力性が非常に低いからで、それ故にマーケットの不均衡が長く続く可能性がある。

プラチナの強い需給ファンダメンタルズとそれがもたらす構造的な供給不足が有力な投資資産としてのプラチナの魅力を高めている。プラチナの需要は安定しているというだけでなく、需要が多種多様な分野に及ぶという点も大きな利点だ。またさらに、水素を活用するエネルギー転換を支える技術にプラチナは欠かせないという新しい需要があることも見逃せない。

プラチナはゴールドに対して大幅に割安な状態にあり、従来より過小評価されている。投資家にとっては注目に値するチャンスを提供しているといえよう。



WPIC リサーチディレクター Edward Sterck

Contacts:

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

Edward Sterck, Research, esterck@platinuminvestment.com

Brendan Clifford, Institutional Distribution, bclifford@platinuminvestment.com



WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Ziyang ZENG (Sophia), CFA

APAC Lead, Product Partnership, szeng@platinuminvestment.com

免責条項: © 2025 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・カOUNシルの名称、ロゴ、及び 略称WPIC は、World Platinum Investment Council Limitedの登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複製、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カOUNシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイト参照: <http://www.platinuminvestment.com>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。